

令和4年3月期 第2四半期 決算概要

～お客様と東和銀行のSDGs(持続可能な発展目標)の推進～



株式会社 東和銀行

令和4年3月期 第2四半期 決算概要

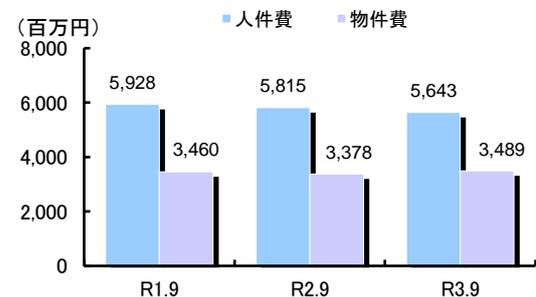
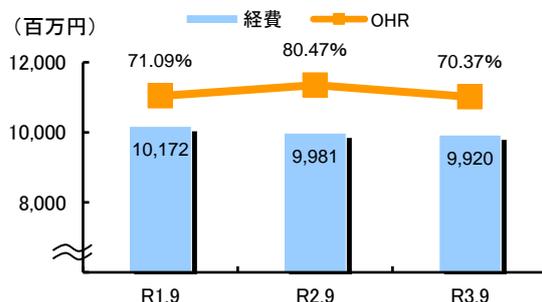
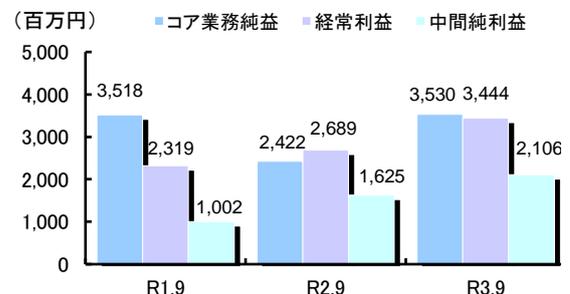
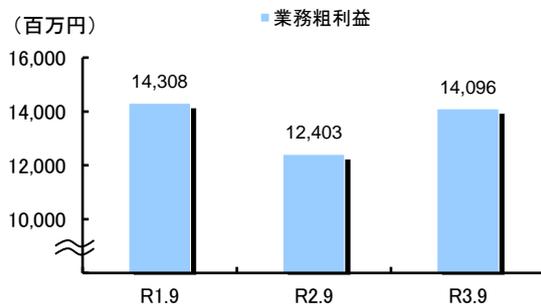
1. 損益の状況

令和4年3月期第2四半期における損益状況は、本業の収益力を示すコア業務純益が35億30百万円、経常利益は34億44百万円、中間純利益は21億6百万円となりました。

《単体》

(単位:百万円、%)

	R2年3月期 第2四半期	R3年3月期 第2四半期	R4年3月期	
			第2四半期	前年同期比
業務粗利益	14,308	12,403	14,096	+ 1,693
資金利益	12,311	11,437	11,771	+ 333
役務取引等利益	889	922	1,202	+ 279
その他業務利益	1,107	42	1,122	+ 1,079
経費(除く臨時処理分)(▲)	10,172	9,981	9,920	▲ 60
OHR(業務粗利益経費率)	71.09	80.47	70.37	▲ 10.10
うち人件費(▲)	5,928	5,815	5,643	▲ 171
うち物件費(▲)	3,460	3,378	3,489	+ 110
コア業務純益	3,518	2,422	3,530	+ 1,108
一般貸倒引当金繰入額(▲)	454	831	▲ 1,285	▲ 2,116
業務純益	3,681	1,590	5,461	+ 3,870
臨時損益	▲ 1,361	1,099	▲ 2,016	▲ 3,115
うち不良債権処理額(▲)	2,194	596	4,363	+ 3,766
うち償却債権取立益	450	94	148	+ 54
うち株式等関係損益	▲ 355	1,250	1,817	+ 567
経常利益	2,319	2,689	3,444	+ 755
特別損益	▲ 611	▲ 120	▲ 107	+ 13
法人税等合計(▲)	705	943	1,230	+ 287
中間純利益	1,002	1,625	2,106	+ 481



2. 主要勘定の状況

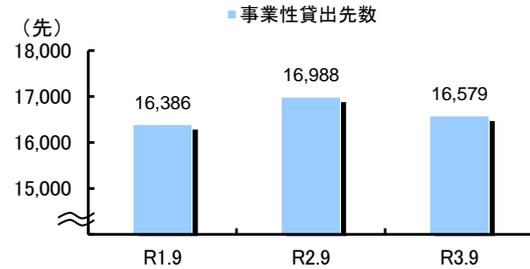
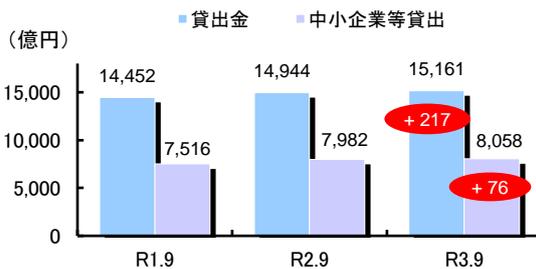
(1) 貸出金

貸出金は、「TOWAお客様応援活動」とともに新型コロナウイルス感染症拡大に伴う中小企業等への資金繰り支援に注力した結果、期末残高は前年同期比217億円増加の1兆5,161億円となりました。
 上記と同様に、中小企業貸出が順調に推移したことから、期末残高は前年同期比76億円増加の8,058億円となりました。
 また、事業性貸出先数は、コロナ禍における渉外活動の自粛による新規開拓件数が減少するとともに、約定完済等による自然解消もあったことから、前年同期比409先減少の16,579先となりました。

《単体》

(単位: 億円、先)

	R2年3月期 第2四半期	R3年3月期 第2四半期	R4年3月期 第2四半期	
			前年同期比	
貸出金(末残)	14,452	14,944	15,161	+ 217
うち中小企業等貸出	7,516	7,982	8,058	+ 76
事業性貸出先数	16,386	16,988	16,579	▲ 409



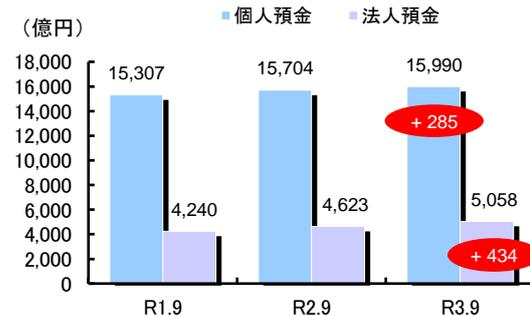
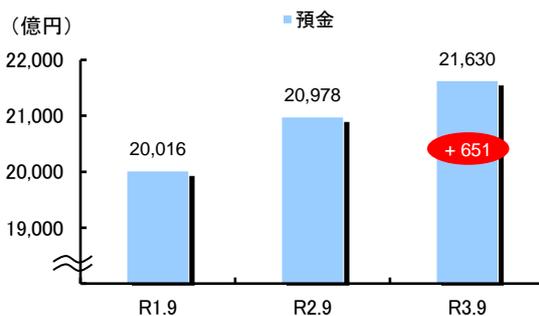
(2) 預金

預金は、個人・法人とも順調に増加し、期末残高は前年同期比651億円増加の2兆1,630億円となりました。

《単体》

(単位: 億円)

	R2年3月期 第2四半期	R3年3月期 第2四半期	R4年3月期 第2四半期	
			前年同期比	
預金(末残)	20,016	20,978	21,630	+ 651
うち個人	15,307	15,704	15,990	+ 285
うち法人	4,240	4,623	5,058	+ 434



(3) 預り資産

投資信託は長期的な資産形成支援に取り組んだことより販売額は179億円、純資産残高は773億円となりました。年金保険等の販売額は55億円、残高は1,256億円となり、また、国債等公共債の販売額は2億円、残高は29億円となりました。

《単体》

(単位:億円)

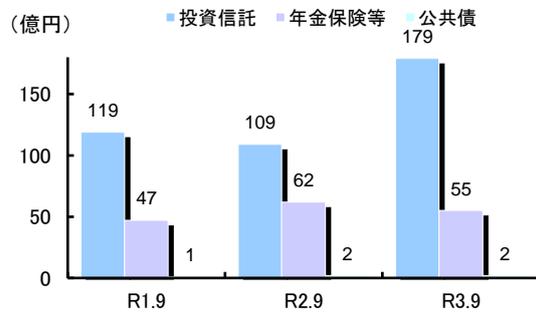
		R2年3月期 第2四半期	R3年3月期 第2四半期	R4年3月期 第2四半期	前年同期比
販売額	投資信託	119	109	179	+ 69
	年金保険等	47	62	55	▲ 6
	公共債	1	2	2	0

《単体》

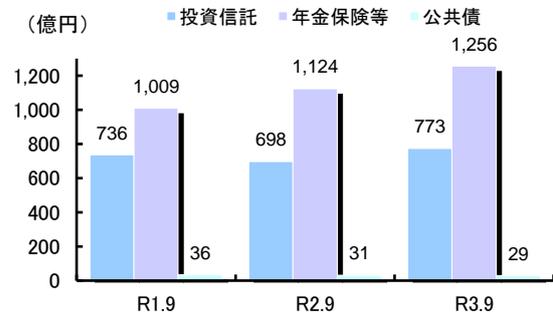
(単位:億円)

		R2年3月期 第2四半期	R3年3月期 第2四半期	R4年3月期 第2四半期	前年同期比
残高	投資信託	736	698	773	+ 75
	年金保険等	1,009	1,124	1,256	+ 131
	公共債	36	31	29	▲ 2

販売額



残高



(4) 有価証券

有価証券は、継続的な運用見直しを行った結果、期末残高は前年同期比462億円増加の6,115億円となりました。

《単体》

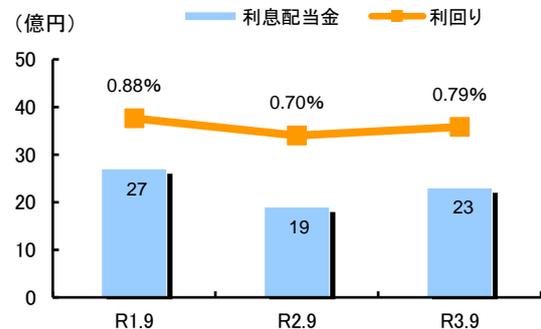
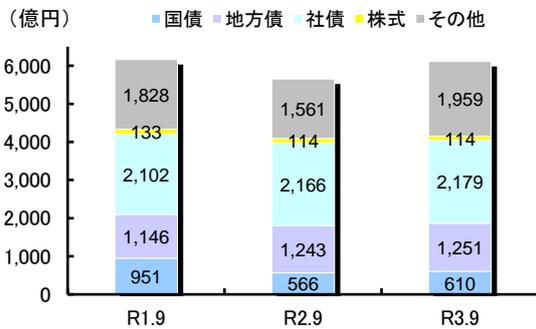
(単位:億円)

	R2年3月期 第2四半期	R3年3月期 第2四半期	R4年3月期 第2四半期	
				前年同期比
有価証券残高	6,162	5,652	6,115	+ 462
国債	951	566	610	+ 44
地方債	1,146	1,243	1,251	+ 7
社債	2,102	2,166	2,179	+ 13
株式	133	114	114	0
その他	1,828	1,561	1,959	+ 397

《単体》

(単位:億円、%)

	R2年3月期 第2四半期	R3年3月期 第2四半期	R4年3月期 第2四半期	
				前年同期比
有価証券利息配当金	27	19	23	+ 4
有価証券利回り	0.88	0.70	0.79	+ 0.09



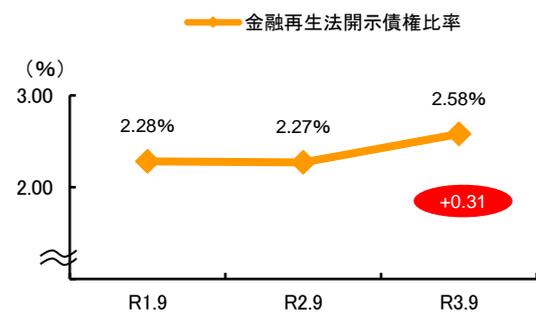
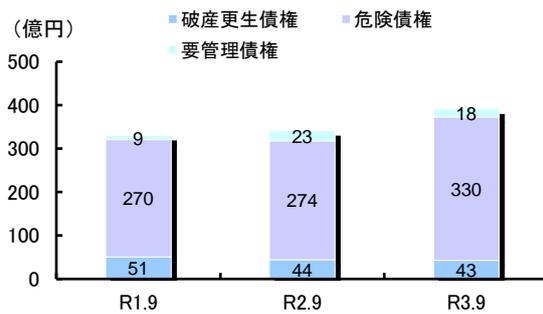
3. 不良債権の状況

金融再生法開示債権比率は、前年同期比0.31ポイント上昇し、2.58%となりました。

《単体》

(単位:億円、%)

	R2年3月期 第2四半期	R3年3月期 第2四半期	R4年3月期 第2四半期	前年同期比
破産更生債権	51	44	43	▲ 1
危険債権	270	274	330	+ 56
要管理債権	9	23	18	▲ 4
小計(A)	332	341	393	+ 51
正常債権	14,181	14,663	14,830	+ 166
合計(B)	14,513	15,004	15,223	+ 218
金融再生法開示債権比率(A/B)	2.28	2.27	2.58	+ 0.31



4. 自己資本比率

自己資本比率は、10.67%（バーゼルⅢ国内基準）となりました。

《単体》

(単位:%)

	R2年3月期 第2四半期	R3年3月期 第2四半期	R4年3月期 第2四半期	前年同期比
自己資本比率	9.60	10.45	10.67	+ 0.22

